

1 1 成長戦略の実現に向けた総合特区制度等の充実

提出先 内閣官房、内閣府

【提案項目】

- 1 規制の特例措置等の速やかな実現
- 2 関係府省予算における総合特区への優先枠の明確化
- 3 総合特区推進調整費の直接交付制度の創設

【提案内容】

項目1 「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」及び「さがみロボット産業特区」が提案している規制の特例措置等の速やかな実現を図ること。

項目2 総合特区の目標実現に向け、関係府省予算における総合特区への優先枠を明確に設定するよう、制度の拡充を行うこと。

項目3 関係府省予算における対応が困難な場合には、総合特区推進調整費を指定地域に直接交付する制度を創設すること。

【提案理由】

今後も高い成長が期待されるライフサイエンスやロボットをはじめとした産業を中心に経済のエンジンを回し、成長を促進するためには、革新的な医薬品・医療機器の開発、国際的な医療人材の養成、再生医療等の先端医療技術の研究及びものづくり技術を活かした生活支援ロボットの実用化の促進並びに関連産業の集積が重要である。

本県では、「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」及び「さがみロボット産業特区」の取組を進めており、経済のエンジンとなる産業・技術の集積拠点の形成などに向けて、規制の特例措置や財政・税制・金融の支援措置を受けながら、総合特区の取組を推進する必要がある。

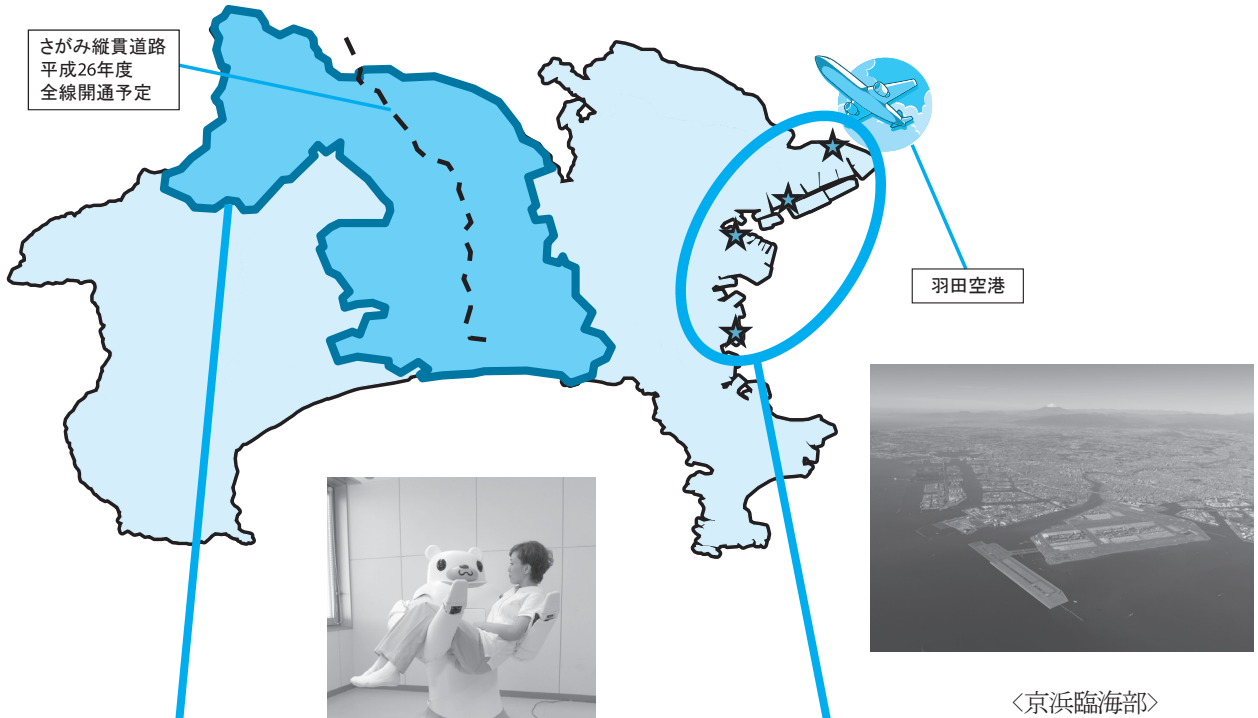
そのためには、規制の特例措置等の速やかな実現、関係府省予算における総合特区への優先枠の明確化、総合特区推進調整費の直接交付制度の創設が必要である。

【本県での取組状況等】

本県は、平成23年12月に、横浜市及び川崎市と共同で「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」の指定を受けた。

指定後は、平成24年3月、7月及び平成25年3月に、「総合特別区域計画」の認定を受け、税制や財政の支援、規制の特例などの措置が行われている。

また、平成25年2月には、「さがみロボット産業特区」の指定を受けた。



〈介護支援ロボット〉
Copyright (C)2009
理化学研究所 RTC
All Rights Reserved.

さがみロボット産業特区

【目標】
生活支援ロボットの活用を通じた地域の安全・安心の実現

【取組（解決策）】

- 研究開発・実証実験等の促進
- 実証環境の充実にに向けた関連産業の集積促進

**京浜臨海部ライフイノベーション
国際戦略総合特区**

【目標】
個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出

【取組（解決策）】

- 健診データを活用した検体バンク・検体情報ネットワークの整備
- 革新的な医薬品・医療機器の新たな評価・解決手法の確立と国際共同治験の迅速化
- ニーズ主導のマッチングによるベンチャー企業等の創出・産業化

(神奈川県担当課：政策局国際戦略総合特区推進課、産業労働局産業振興課)